### ZSSSK



全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会報

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

事務局 東京都大田区立東調布第一小学校 〒136-0073 東京都大田区田園調布南 28-7 TEL 03-3649-3462

発行人 相 川 哲 也編集人 長谷川 かほる

#### 生活科・総合的な学習の時間の成果を

目に見える形で!

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

会長相川哲也

(東京都大田区立東調布第一小学校長)

7月11日(木)に、東京・港区にあるフロラシオン青山において、平成25年度第1回全国理事会が開催されました。その折、茂木会長のあとを受け、多数の理事の皆様より、会長としてご承認いただきました相川哲也でございます。本研究協議会の会長という大役ができるか不安もございますが、一度お引き受けした以上は、私のモットーである「力いっぱいの精神」で頑張っていきたいと考えております。

当日理事会では、25年度の事業案及び予算案の承認とともに、各ブロックでの研究大会開催の情報が多くのブロックから提供されました。また、第32回(平成35年度)全国大会の開催地に、今年全国大会を行う京都から声があがり、京都の熱い思いを伺うことができたような気がしています。

過日、朝日新聞に『学校教育に対する保護者の意識 調査』結果が記載されていました。それによると、「保護 者が求める学力は?」という問いには、「主体的に行動す る力」「物事を多面的に考える力」「課題を発見する力」 「論理的に考える力」に対する期待が高いことが記載され ていました。また、「教科に関する知識」と「社会で活用で きる力(コミュニケーション力など)」のどちらを学校教育 に重視すべきかとの問いには、「教科に関する知識」より も、「社会で活用できる力(コミュニケーション力など)」を 求める数字が大幅に上回っていました。今の保護者は、 知識重視の暗記型の学力よりも、実生活に活用できる学 力を求めるように変化してきていることが分かります。こ れはまさに、私たちが今まで生活科や総合的な学習の 時間で取り組んできたことを、保護者が求めはじめてい る一例ではではないでしょうか。また、6月14日に閣議決 定された「教育振興基本計画」には、4つのビジョン(基本 的方向性)、8つもミッション(成果目標)、30のアクション (基本施策)が示されています。その中には、「自ら課題 を発見し解決する力、他者と協働するためのコミュニケー ション能力、物事を多様な観点から論理的に考察する力 を重視する必要がある。」と記載されています。これも今 まで生活科や総合的な学習の時間を通じて、子供たち に身に付けさせてきた力であると言えるのではないでしょうか。まさに追い風が吹いていると言っても過言ではな いと思います。

反面、道徳の教科化や外国語活動の学年の引き下げなどが新聞紙上を賑わしており、風の方向が少しでも変われば、生活科や総合的な学習の時間の時数の見直しなどという逆風が起こることも、頭の片隅においておかなければならないと思います。

それだけに、本研究会では、子どもたちに確かな学力を身に付けていることの実証を、さまざまな検証授業を通して、教員などの学校関係者はもちろん、保護者など世間一般の方にも目に見える形で示していくことが大切だと考えています。そのためにも、各都道府県、各市区町村での研究成果を共有し、それぞれの課題を解決しながら、質の高い授業をともに積み上げていければと考えています。

今年は11月21日(木)、22日(金)に京都において、第22回目の全国大会が開催されます。大会主題を「感動 愛 そして未来へ ~探究と協同でつくる確かな学びのスパイラル~」として、生活科や総合的な学習の時間の子どもの「確かな学び」をつくる授業づくりを、提案していきたいと考えています。1日目は、文部科学省教科調査官である田村学先生の記念講演やシンポジウム、2日目は、2つの会場(御所南小、桂徳小)での公開授業や32の課題別分科会などを予定しています。また、北海道ブロック(後志大会)、東北ブロック(岩手大会)、関東ブロック(千葉大会)、四国ブロック(高知大会)、九州ブロック(宮崎大会)などでも研究大会を開催する予定です。ぜひ、多くの皆様に大会に参加していただき、研究成果をそれぞれもち帰り、各地区で発信していただきたいと思います。

平成 25 年7月

各都道府県教育委員会 教育長様 各区市町村教育委員会 教育長様 各都道府県生活科・総合的な学習 教育研究会会長様 各小・中・特別支援学校 校長様 各幼稚園・保育所 園長・所長様 生活科・総合的な学習教育 研究者様

全国 小 学 校 生 活 科 ・総 合 的 な 学 習 教 育 研 究 協 議 会 会 長 相川 哲也全 国 小 学 校 生 活 科 ・総 合 的 な 学 習 教 育 研 究 協 議 会近 畿 地 区 小 学 校 生 活 科 ・総 合 的 な 学 習 教 育 研 究 協 議 会 京都大会実行委員長 田中 千草

#### 平成 25 年度

第22回 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 第16回 近畿地区小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会



# 第二次案内

学習指導要領が改訂され、生活科・総合的な学習について改めて「めざすもの」が示されました。その ねらいの達成に向けて全国各地の学校は研究実践を積んでおられることと存じます。

京都では平成13年に第10回記念大会で「愛」を発信してから、生活科や総合的な学習の時間の学びの価値について、変えてはいけないもの、変えなくてはいけないものを整理分析し研究実践を積んできました。そして今年度京都大会では、生活科・総合的な学習の時間の子どもの「確かな学び」をつくる授業づくりについて提案しようと大会テーマを設定しました。

この京都大会にご参加いただき、生活科・総合的な学習の時間について多くの皆様からご指導賜りたくご案内申し上げます。

# 大会主題感動愛そして未来へ

~探究と協同でつくる確かな学びのスパイラル~

- 1 期日 平成25年11月21日 (木)・22日 (金)
- 2 会場第1日目全体会ホテルグランヴィア京都第2日目授業・分科会京都市立御所南小学校

第2日目 授業・分科会 京都市立御所南小学校 京都市立桂徳小学校

- 3 主催 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 近畿地区小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 京都市小学校生活科・総合的な学習教育研究会
- 4 後援 文部科学省・京都市教育委員会・京都府教育委員会・全国連合小学校長会・ 京都市小学校長会・京都府小学校長会・京都市立幼稚園長会・ 京都市私立幼稚園協会・京都府私立幼稚園連盟・京都市獣医師会

### ★日 程

[1日目] 11月21日(木) 会場:ホテルグランヴィア京都

13:00 13:30 15:10 15:25 16:50 17:20 18:20 18:40~ 受 記念講演 休 休 全国 休 開会行事 シンポジウム 閉会行事 レセプション 付 憩 理事会 田村学先生 憩 憩

# ★記念講演

文部科学省初等中等局教育課程課教科調査官 田村 学 先生

### ★シンポジウム

文部科学省初等中等局教育課程課教科調査官 田村 学 先生 文教大学大学院教授 嶋野 道弘 先生 愛知教育大学教授 野田 敦敬 先生 京都光華女子大学副学長 加藤 明 先生

# ★日 程

《コーディネーター》

[2日目] 11月22日(金) 会場:京都市立御所南小学校

\*京都市立御所南小学校6年生の公開授業は 京都市立御池中学校で行います

### 京都市立桂徳小学校

9:00	9:30 9:	50 10:1	10 10:	30 10	):45 11:	30 13:	00 13	:4514	:00 15:	30 1	5:40 16:	1016:	20 17:00
受付	開会行事	基調提案	会場校 提案	移動	公開 授業 	昼食	公開 授業 II	移動	課題別分科会	移動	学年提案	移動	指導講評 嶋野道弘先生 野田敦敬先生

### ★学年提案

各学年から学年の取組を提案します

### ★会場別指導講評

京都市立御所南小学校 文教大学大学院教授 嶋野 道弘 先生京都市立桂徳小学校 愛知教育大学教授 野田 敦敬 先生

### (お問い合わせ先)

京都大会実行委員会事務局

\*詳しい大会案内・申し込み要綱は研究会ホームページからダウンロードできます。 HP: http://www.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyukai/s-seikatsu/

**T**603-8322

京都市北区平野宮本町19-6

京都市立衣笠小学校 校長 髙橋 義弘

TEL: 075-462-0034 FAX: 075-462-0618

Email: kinugasa-s@edu.city.kyoto.jp



# 京都市立御所南小学校

所在地 **〒**604-0973

京都市中京区柳馬場通夷川上る五町目 242 番地

校長竹内知史

児童数 1238 名(39学級)

TEL 075-223-0148 FAX 075-223-0149

本校は、京都市の中心部、京都御苑の南に位置する学校で、平成7年4月に5つの小学校が統合して開校しました。統合した5つの小学校は、いずれも125年の長きにわたり地域の方々からシンボルとして親しまれていました。新しい学校においても地域の人々の絆を紡ぐ学校でありたいと考え、地域の自然や伝統、文化を生かし、地域、家庭、学校が一体となって、子ども一人一人がかがやく学校を目指して取り組んできました。

平成9年度から文部省の「研究開発学校」の指定を受け、総合的な学習を中心として教育課程の研究を進めました。平成13年度には「全国小学校生活・総合的な学習教育研究協議会京都大会」において授業公開を行いました。

平成14年度文部科学省から「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究(いわゆるコミュニティスクール)」の

研究指定を、また平成16年度には京都市教育委員会より「学校運営協議会を設置する学校」としての指定を受け、地域と家庭、学校が協働する仕組を構築し、皆の夢が広がる学校創りを進めています。

平成17年度からは京都市小中一貫教育特区の認定を受け、義務教育9年間の一貫した学びのために、読解力育成を中心にカリキュラムを作成しています。平成19年度から、本校の6年生が京都御池中学校の校舎で学習し、中学校教員と小学校教員による連携授業を進め7年目になります。読解力を活用し、生活科・総合的な学習を中心に探究力を育んでいます。



### 研究主題

「学ぶ力と読解力を活用し、探究し続ける子どもの育成」 ~思考表現力を育む生活科・総合的な学習~

# 授業提案・授業研究の紹介

生活単元学習(8組) 生活科(1・2年)総合的な学習(3・4・5・6年)

■公開授業 [ (10:45~11:30)

学年	単 元 名	授 業 者			
8組(育成学級)	「わたしの すきな しごと」	山内 智代・石田 容子			
1年	「みんなの にこにこ 大さくせん」	武内 寿子・西川 翔子・烏田 望 小林 直子・水野 幸恵・吉田 菜穂 平田 あや			
4年	「わたしたちの鴨川」	梅﨑美奈子・谷口 和彦・根来 真明 松本 伸明・藤川 幸子・丹野 千聖 村上奈々緒			
※6年生の公開授業は京都御池中学校の校舎で行われます。					
6年	「共に生きる」	保科 一生・平木 宏典・倉中 晃子 田川 貢佑・加藤 理沙・樫原 貴博 中山 友秀			
6年8組 (育成学級)	「わたしの すきな しごと」	中川 拓也			

■公開授業Ⅱ(13:00~13:45)

学年	単 元 名	授 業 者
2年	「あそんで ためして くふうして」	中川 正子・武輪 真実・尾﨑 奈生 上田 昭子・福田 恵・大塚 裕子
3年	「わたしたちの <sup>☆☆こ</sup> 」	勝森 昭子・中原 広美・岡本 卓也 中野 京介・松坂 美穂・西中 善彦
5年	「わたしの仕事」	中村 友彦・中市 雄哉・前田 幸 美馬 香織・岩永 祐輔・辻川 孝一

指導講評

文教大学大学院教授 嶋野 道弘 先生



# 京都市立桂徳小学校

所在地 **〒**615-8302

京都市西京区桂徳大寺南町2番地

校 長 田中 千草 児童数 457名(17学級) TEL 075-381-7037 FAX 075-381-7038

本校は、京都市の西部に位置する学校で、昭和61年4月に桂小学校から独立し、京都市立桂徳小学校として開校しました。本校の周辺には、東に桂川、南に桂離宮があり地域には田畑が残り自然豊かな地域です。平成19年には桂徳学校運営協議会を発足し、地域とともに歩む学校づくりを目指してきました。

4年前から、地域を教材に生活科・総合的な学習・生活単元学習の研究に取り組み、地域の人、もの、ことを先生として心ときめいて主体的に学習する子ども、そして地域を愛する子どもを育ててきました。

特に今年度は、国立教育政策研究所教育課程研究指定事業の委嘱を受け、子どもが協同的な学習を進めながら探究し続け、「自分づくり」ができるよう、生活科・総合的な学習・生活単元学習を通して研究を進めています。



### 研究主題

探究・協同の学習を通して

「自分づくり」の学びを創造する子どもの育成

# 授業提案・授業研究の紹介

生活単元学習(3くみ) 生活科(1・2年)総合的な学習(3・4・5・6年)

■公開授業 [ (10:45~11:30)

学年	単 元 名	授 業 者	
3くみ (育成学級)	「3くみやをひらこう」	朝日 瞳・田中麗子	
1年	「きせつとあそぼう」 ~わくわくさんぽ あき~	山野香奈江・乾 香織・藤原久美子	
3年	「大せんぱいの宝箱」	野々村久美子・安福正敬・石橋あかね	
5年	「Life~命を守る~」	林 正晴・上田奈都子・原 哲也	

■公開授業Ⅱ(13:00~13:45)

学年	単 元 名	授 業 者		
2年	「わくわくドキドキけいとく町たんけん」	今野裕介・谷口麻里・池上純之		
4年	「桂のうりはじめました」	近藤暁子・門屋大介・佐々井芳子		
6年	「魅力ある桂」 〜歴史を受け継ごう〜	太田耕二・中本絢子		

指導講評

愛知教育大学 教授 野田 敦敬 先生

# 平成25年度 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

### 役 員

∠ □□□	HH.	_
< AH	THT1	>

増田 和彦 (元全国小学校生活科教育研究協議会会長) 會田 (元全国小学校生活科教育研究協議会会長) 満 町田 惠司 (元全国小学校生活科教育研究協議会会長) 松村 昌俊 (元全国小学校生活科教育研究協議会会長) 万代 る里子 (元全国小学校生活科教育研究協議会会長) (元全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長) 舩田 信昭 (元全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長) 寺崎 千秋 (元全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長) 和田 信行 浅田 学 (元全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長) 井出 (元全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長) 政廣 清水 一豊 (元全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長) 茂木 三枝 (前全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長)

### <会 長>

相川 哲也 東京都大田区立東調布第一小学校

### <副会長・常任理事>

北海道ブロック	三好	哲司	北海道札幌市立栄緑小学校
東北ブロック	山内	昭	岩手県盛岡市立東松園小学校
関東ブロック	元吉	稔	千葉県千葉市立幕張小学校
東京ブロック	芳賀	亮作	東京都江東区立水神小学校
東海・北陸ブロック	佐藤	真市	新潟県上越市立高志小学校
名古屋ブロック	牧野	晃生	愛知県名古屋市立大坪小学校
近畿ブロック	田中	千草	京都府京都市立桂徳小学校
大阪ブロック	松井	奈津子	大阪府大阪市立鶴橋小学校
中国ブロック	辻田	賢次	鳥取県米子市立彦名小学校
四国ブロック	小堀	美雅子	高知県香南市立香我美小学校
九州ブロック	江上	彰	福岡県福岡市立高木小学校

### <理 事>

都道府県の各小学校生活科及び総合的な学習の教育研究団体の代表

### <事務局>

事務局長	齊藤純	東京都文京区立千駄木小学校
事務局次長	三澤  章生	東京都八王子市立散田小学校
庶務部長	石田 恒久	東京都日野市立旭が丘小学校
会計部長	服部 みどり	東京都大田区立西六郷小学校
広報部長	長谷川かほる	東京都荒川区立汐入小学校
会計監査	齋藤 栄子	東京都練馬区立大泉第六小学校